

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間

令和3年8月～令和4年7月
(2021年) (2022年)

株式会社 柏原鐵工所

令和4年12月25日 作成

目 次

1	社長挨拶	2
2	事業活動の概要	3
	会社概要	
	環境管理に関する組織図	
	環境管理における活動体制	
3	環境経営方針	5
4	活動指針	5
5	環境経営目標（令和3年度）	6
	目標設定項目	
6	環境経営計画	8
7	今年度の目標・実績・評価（令和3年度）	9
8	その他の環境活動	10
9	今年度の活動評価（令和3年度）	11
10	該当環境関連法規、訴訟の有無	12
11	地震、火災、液体物の漏れ等による緊急時対応マニュアル	
	13
12	代表者による評価と見直し及び指示	14
13	来年度に向けて	15



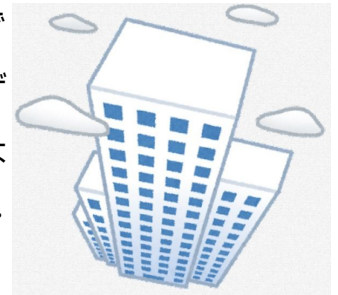
社長の挨拶

今年度は国内外ともに衝撃的な出来事が起きた年でした。8月、コロナ禍^かの中で無観客で開催した東京オリンピックの閉幕。翌年2月、北京冬季オリンピックの開幕。同月、ロシアが隣国ウクライナへの侵略戦争開始。7月、安倍晋三元首相が



参院選の演説中に暴漢によって銃撃されました。ロシアが戦争を起こしたことによるエネルギーや食料の危機、これによって国内の電気・ガスやパン等の食料物価の値上がりと金融市場の急激な円安の進行にも悩まされてきました。

建設業界にも影響があり、経済活動の停滞により工場やホテル等の計画延期や中止が発生し、受注が無くなったり先延ばしになったりしています。現在はコロナ禍でもワクチンの接種が広がり、薬も出来て、経済活動が少しずつではありますが、コロナ禍前に戻りつつあります。材料の値上げも現在は納まり、受注件数も増加の傾向が見られます。来年は卯（うさぎ）年でありますので、『飛躍』の年にしたいなあ…と思っています。



令和4年12月

株式会社 柏原鐵工所

代表取締役社長 柏原正明

事業活動の概要

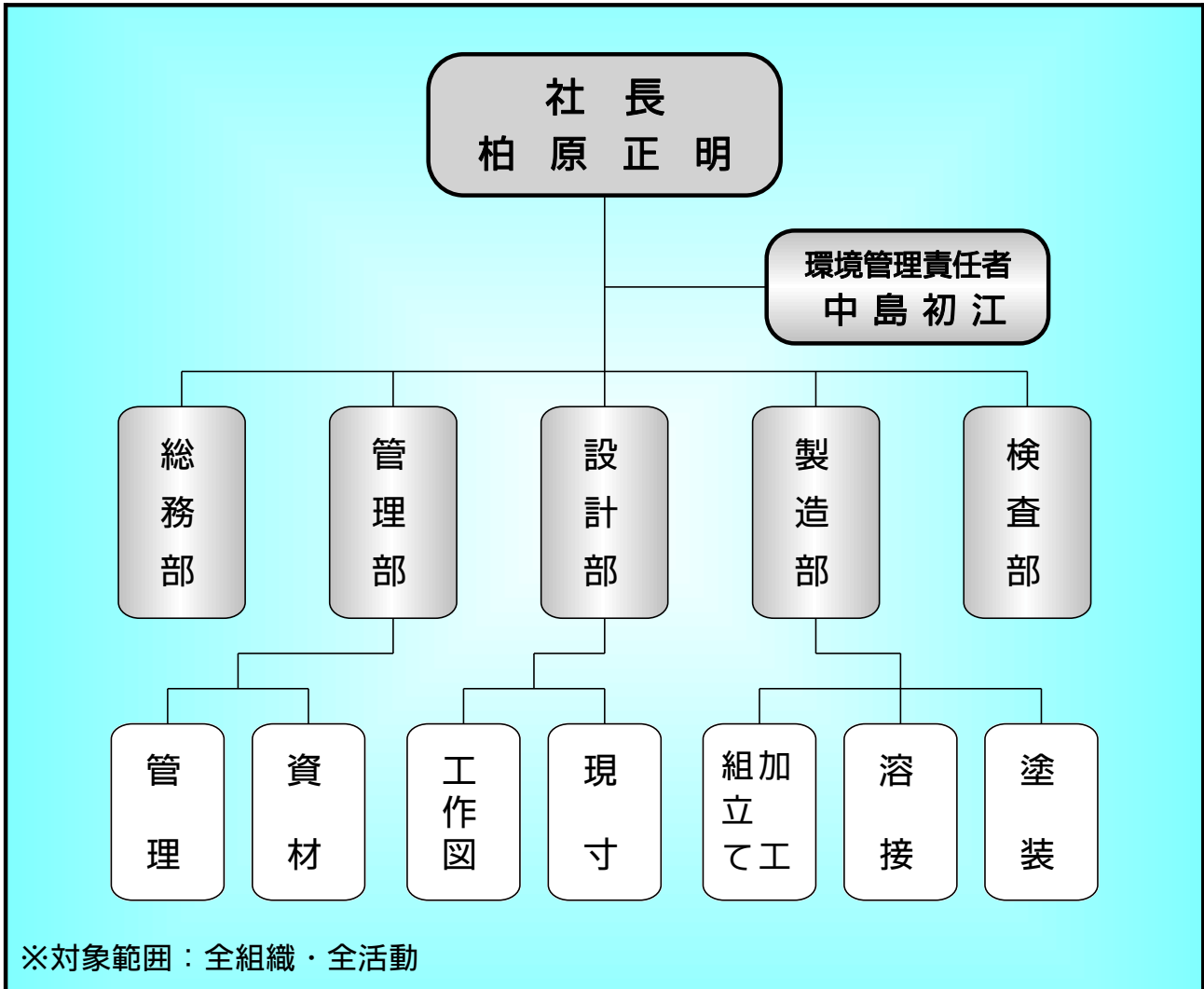
会社概要

事業所名 代表者名	 株式会社 柏原鐵工所 代表取締役社長 柏原正明														
住所・連絡先	本社・工場 〒425-0045 静岡県焼津市祢宜島124-2 大井川工場 〒421-0203 静岡県焼津市藤守2045 (平成30年3月開設) 電話 054-624-5803 FAX 054-623-0046 web http://e-kashiwa.com/ info@e-kashiwa.com														
建設業許可	建築工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可（般-3）第2124号 大臣認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H-214646														
事業内容	一般住宅・共同住宅・オフィスビル・工場・店舗・耐震ブレース・その他各種鉄骨の製作及び工事														
事業の規模	従業員数 30名（令和4年11月現在） 資本金 800万円 売上高 約4億1,857万円（令和3年度実績） 延べ床面積 3,559.1㎡														
主要取引先 (敬称略 50音順)	<table border="0"> <tr> <td>臼幸産業株式会社</td> <td>木下建設工業株式会社</td> </tr> <tr> <td>株式会社 国都</td> <td>五光建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>近藤建設工業株式会社</td> <td>清水建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>瀬戸建設株式会社</td> <td>第一建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>東急建設株式会社</td> <td>戸田建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>株式会社 トンボ総合建設</td> <td>日鉄物産システム建築株式会社</td> </tr> <tr> <td>株式会社 橋本組</td> <td>名工建設株式会社</td> </tr> </table>	臼幸産業株式会社	木下建設工業株式会社	株式会社 国都	五光建設株式会社	近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社	瀬戸建設株式会社	第一建設株式会社	東急建設株式会社	戸田建設株式会社	株式会社 トンボ総合建設	日鉄物産システム建築株式会社	株式会社 橋本組	名工建設株式会社
臼幸産業株式会社	木下建設工業株式会社														
株式会社 国都	五光建設株式会社														
近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社														
瀬戸建設株式会社	第一建設株式会社														
東急建設株式会社	戸田建設株式会社														
株式会社 トンボ総合建設	日鉄物産システム建築株式会社														
株式会社 橋本組	名工建設株式会社														
エコ アクション 21	認証・登録番号 0004784 認証・登録日 平成22年3月29日 有効期間 令和6年3月28日 環境管理責任者 中島初江 実務担当者 柏原佳香・中島重男 連絡先 k.kajiya@ka.tnc.ne.jp														



®環境省
エコアクション21
認証番号0004784

環境管理に関する組織図



環境管理における活動体制

代 表 者	柏原正明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動の目標及び計画の承認 ・ 環境活動全体の評価と見直し及び指示 ・ 環境経営方針の策定及び改定 ・ 経営資源の準備 ・ 経営の課題とチャンスの明確化 ・ 実施体制の構築 	連絡担当者
環境管理責任者	中島初江	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動の計画立案及び実施と経営者への報告 ・ 環境活動の自己チェックの実施 ・ 環境方針及び活動計画の見直し ・ 環境教育の推進 	
実務担当者	柏原佳香 中島重男	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理責任者の補佐 ・ 廃棄物の分別処理 ・ 管理データの収集及び比較整理 ・ 『環境経営レポート』の作成 	

環境経営方針

株式会社柏原鐵工所は、建設事業を経営していくに当たり、地域との関わりを大切にし、環境に負担を掛けないよう配慮し、ゴミ削減及び再利用・再資源化に寄与し、また、有害化学物質の低減を最大限に実現できるよう努力し、省資源化・省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を減らし、尚且つ経済的に成り立つ会社にして、持続可能な循環型社会づくりを目指します。

このような活動を通して地球温暖化の防止に貢献します。

活動指針

1	事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
2	事業活動において、工場や工事現場で発生する産業廃棄物の排出削減を目指すと共に廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるように努める。
3	有害化学物質の含有量が少ない塗料や溶接棒の推奨に努める。
4	機械設備及び備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
5	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動を徹底する。 安全活動の推進に努める。
6	上記の活動を継続させるため、数値目標を設定し、それに基づいて査定・評価して日々の改善に努める。
7	事業活動において、弊社は環境関連法規制及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
8	当社は上記活動を実施するに当り、本方針を従業員及び外注員全員に周知徹底します。又、この活動内容を地域社会にお知らせします。

改訂日：令和4年10月1日 (株)柏原鐵工所 代表取締役 柏原正明

環境経営目標（令和3年度）

弊社では今年度の『環境経営レポート』の基準年を〈令和2年度〉の実測値とし、そこから今年度の基準値及び目標値を設定して、令和3年度の実測値と比較しました。そして比較項目は13項目としました。

基準年である令和2年度の実測値を、仕事量を同等にした上で、その数値から毎年マイナス1%を目標値とし比較する事としました。

【基準値・目標値の設定方法】

①各年度の受注件数の増減によって実測値が大きく変動するので、目標値との比較はそのままでは比較できないと考えます。仕事量に直接関係のある鋼材の購入量（支給材も含む）を基準とし、その増減の割合を基準年の各データに掛け合わせ比較します。

年 度	鋼材購入量(支給材含む)	割 合	基 準 値
平成30年度	4,342.7 t	100.0 %	旧基準年
令和元年度	4,021.6 t	92.6 %	←旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
令和2年度	2,545.2 t	100.0 %	基準年の各データ
令和3年度	1,858.4 t	73.0 %	基準年の各データに73.0%を掛けた数字が基準値となる

②上記表のとおり、基準年の鋼材購入量（支給材も含む）を100%とすると、今年度その増減率は73.0%となる。よって基準年の各項目のデータ数に73.0%掛けた数値が仕事量同等数値（以下『**基準値**』という）と言う事とします。

$$\text{基準年の各項目のデータの数値} \times 73.0 \% = \text{基準値}$$

③上記計算を行うと各データ数値は基準年と比較できる“基準値”となる。この基準値から毎年1%削減した数値が今年度の『**目標値**』になります。

$$\text{基準年の各項目のデータの基準値} \times 99.0 \% = \text{目標値}$$

④これによって、令和3年度の各項目の“目標値”が出てきます。この数値が令和3年度の【**実測値**】と比較出来ることとなります。

この方程式を当てはめると令和3年度の各項目の目標値は、次項の表となります。



目標設定項目 (令和3年度)

中長期目標
(令和3年度～令和5年度)

比較項目		年度	令和3年度 (2021)		令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
		令和2年度 (2020年)	基準値 基準年 × 73.0%	目標値 基準値 × 99%	目標値 基準値 × 98%	目標値 基準値 × 97%
電力使用量 (KWh)		127,871.0	93,368.6	92,434.9	- 2%	- 3%
水使用量 (m³)		446.0	325.7	322.4	- 2%	- 3%
コピー用紙 (kg)		390.0	284.8	281.9	- 2%	- 3%
化石燃料	ガソリン (L)	1,791.9	1,308.4	1,295.3	- 2%	- 3%
	軽油 (L)	3,140.5	2,293.1	2,270.2	- 2%	- 3%
産業廃棄物排出量	鉄くず (kg)	82,893.0	60,526.6	59,921.4	- 2%	- 3%
	ダンボール (kg)	560.0	408.9	404.8	- 2%	- 3%
	その他の資源ゴミ (kg)	5,250.0	3,833.4	3,795.1	- 2%	- 3%
	埋立てゴミ (kg)	3,493.0	2,550.5	2,525.0	- 2%	- 3%
一般廃棄物排出量	燃えるゴミ (kg)	1,375.0	1,004.0	994.0	- 2%	- 3%
	その他の資源ゴミ (kg)	507.0	370.2	366.5	- 2%	- 3%
有害化学物質排出量 (kg)		684.4	499.7	494.7	- 2%	- 3%
二酸化炭素排出量 (kg - CO ²)		89,114.9	65,069.7	64,419.0	- 2%	- 3%

※基準年の購入電力のCO₂排出係数は、出光グリーンパワー(株) = 0.462 kg-CO₂/kwh (本社工場 5ヶ月)
 鈴与商事(株) = 0.553 kg-CO₂/kwh (本社工場 7ヶ月)
 中部電力(株) = 0.426 kg-CO₂/kwh (大井川工場 12ヶ月) を適用。

※産業廃棄物(その他の資源ゴミ)は、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型紙などを指す。

※一般廃棄物(その他の資源ゴミ)は、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ(マーク付)・ペットボトルなどを指す。

※令和4年度以降の目標値は、その年の鋼材購入量(支給材も含む)により変動します。

基準年も社会情勢や景気・仕事量の変化によって変更する場合があります。

【目標値について】

「**基準年**」の数値と対照年度の数値をそのまま比較すると、その年々の社会情勢とか景気によって仕事量が大きく左右されるので単純に比較するのは妥当ではないと判断しました。そこで仕事量を出るだけ同等にするためには何かと考え、鋼材の購入量(支給材も含め)が仕事量に影響するので、その増減率を他の数値に反映させて「**基準値**」とし、その基準値に削減率を掛けた数値を「**目標値**」とします。この目標値と対照年度の「**実測値**」を比較する事で、実測値同士を比較するよりも正確に比較できるものと考えました。

今年度は基準年を平成30年度から令和2年度に変更しました。平成30年度は「武漢肺炎ウイルス」発生前であり好調とは言えないまでも平均して仕事を貰っていましたが、令和元年12月に中国・武漢で発生したウイルスの影響で受注量が減少して未だに回復していません。このため基準年を武漢肺炎ウイルス影響下にある『前年度(令和2年度)』に変更した方が妥当と考えました。当分の間回復しないだろうとの予測です。

環境経営計画（令和3年度）

取り組み事項	取り組み内容（詳細）	担当部署（責任者）
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の徹底、安全活動の継続	製造部（青島）
	機械設備の定期点検・整備の徹底	
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・省電	総務部（柏原佳）
	空調設備の温度設定の徹底（夏26℃以上/冬22℃以下）	
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調整	
	照明器具・空調設備の定期的な清掃	
	省エネタイプの設備機器の継続的導入	管理部（飯田）
	計画的な輸送・運搬の実現	
	自動車の急発進・急加速の禁止、アイドリングストップの励行	
	安全運転のためのドライブレコーダー等安全装置の導入	
自動車の定期点検・整備の励行		
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	3Rの徹底 Reduce（ゴミ削減）・Reuse（再利用）・Recycle（再資源化）	総務部（中島初）
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底	
	コピー用紙の両面印刷、使用済み紙の両面使用	
	図面及び書類等の電子化推進	管理部（石原）
	廃棄物を出さないために購入時の再検討	
	材料・消耗部品等の無駄のない使い方を周知徹底	
	材料の在庫管理	
原材料や溶接材料に関する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接材や塗料材等を効率よく最適な量を使用する	製造部（木原）
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、又は有害化学物質が含まれていない溶接材や塗料材を提案する	管理部（石原）
水道水削減の取り組み	節水に努める	総務部（柏原佳）
	止水の確認、漏水検査	
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入の取組み	総務部（中島初）
	防災訓練の実施	
	地域社会における社会貢献の推進	

今年度の目標・実績・評価（令和3年度）

比較項目		令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)		令和3年度 (2021年)	評価
		基準年	基準値 基準年 × 73.0%	目標値 基準値 × 99%	実測値	
電力使用量	(KWh)	127,871.0	93,368.6	92,434.9	127,070.0	×
水使用量	(m ³)	446.0	325.7	322.4	441.0	×
コピー用紙使用量	(kg)	390.0	284.8	281.9	430.6	×
化石燃料	ガソリン (L)	1,791.9	1,308.4	1,295.3	2,235.8	×
	軽油 (L)	3,140.5	2,293.1	2,270.2	3,239.2	×
産業廃棄物排出量	鉄くず (kg)	82,893.0	60,526.6	59,921.4	91,750.0	×
	ダンボール (kg)	560.0	408.9	404.8	637.0	×
	その他の資源ゴミ (kg)	5,250.0	3,833.4	3,795.1	360.0	○
	埋め立てゴミ (kg)	3,493.0	2,550.5	2,525.0	1,120.0	○
一般廃棄物排出量	燃えるゴミ (kg)	1,375.0	1,004.0	994.0	1,342.5	×
	その他の資源ゴミ (kg)	507.0	370.2	366.5	906.5	×
有害化学物質排出量	(kg)	684.4	499.7	494.7	255.7	○
二酸化炭素排出量	(kg - CO ₂)	89,114.9	65,069.7	64,419.0	90,272.1	×

※基準年の購入電力のCO₂排出係数は、出光グリーンパワー(株) = 0.462 kg-CO₂/kwh (本社工場 5ヶ月)
 鈴与商事(株) = 0.553 kg-CO₂/kwh (本社工場 7ヶ月)
 中部電力(株) = 0.426 kg-CO₂/kwh (大井川工場 12ヶ月) を適用。
 実測値の購入電力のCO₂排出係数は、鈴与商事(株) = 0.523 kg-CO₂/kwh (本社工場 12ヶ月)
 中部電力(株) = 0.379 kg-CO₂/kwh (大井川工場 12ヶ月) を適用。

※産業廃棄物（その他の資源ゴミ）は、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型紙などを指す。

※一般廃棄物（その他の資源ゴミ）は、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ（マーク付）・ペットボトルなどを指す。

評価としては・・・

令和3年度はまだ“武漢ウィルス”の影響下にあるようで、前年度よりも【鋼材購入量（支給材含む）】が73.02%と低く回復していないことが大きく影響して【目標値】が大幅に下がっているのので、【実測値】と比較すると13項目中3項目がクリア出来ただけでした。両年度を【実測値】同士で比較したとしても前年度を下回っているのは6項目だけです。個別に見ていくと、【電力使用量】【水使用量】【コピー用紙使用量】【二酸化炭素排出量】がクリア出来ていません。この項目は【鋼材購入量（支給材含む）】の増減に関係なくある程度の範囲内で増減しているのではないかと感じます。このために【鋼材購入量（支給材含む）】の増減によって【目標値】が変化するので、4つ揃ってクリアできたりできなかったりするのではないかと思います。【ガソリン使用量】は〈対前年比〉124.8%となっていますがこれは建築現場が遠地となり移動距離が増したからだと思われます。【軽油使用量】も〈対前年比〉103.1%となって微増となっています。【鉄くず・ダンボール排出量】は〈対前年比〉110.7%・113.8%です。鉄くずの排出量は少しでも減らしたいです。【産廃・その他の資源ゴミ】はクリア出来ていますが、この項目は統計を取り始めて4年ですがその年々によって排出量が大きく異なるようです。【産廃・埋め立てゴミ】も今年度は少なかったです。【一廃・その他の資源ゴミ】は〈対前年比〉178.8%と増加していますがこれは「雑誌・雑紙」が多かったようです。

次年度目標：変更なし

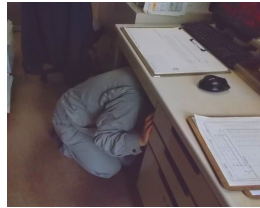
この続きは P15 です。

その他の環境活動

今年度は昨年度に続きコロナ禍の中でしたが、少しは慣れてきたようで徐々にではありますが活動が再開されてきました。毎年恒例の「シェイクアウト訓練」に加え、昨年中止となった「ビーチクリーン作戦」がありました。産廃業者への訪問とかも行きました。花壇の緑化にも手をかけています。

今年も焼津市で恒例の「シェイクアウト訓練」が9月22日行われました。訓練内容は毎年変わりますが日々の積み重ねが大事ですので気を抜くことなくサイレンを合図に行いました。弊社には外国人も数人いますので内容を説明して外注様も参加し、事務所の机の下とか工場でも^{かが}屈んだりして最後には工場入口で人数確認をしました。担当者による避難用具の動作確認や非常食等の賞味期限確認も行ないました。

又、11月21日に行われた「ビーチクリーン作戦」は朝8時30分から曇り空の中、大人や子供等大勢の市民や毎年見かける地元の企業のご家族等が詰めかけ1時間ほどゴミはさみとゴミ袋を持って汗を流していました。浜当目の海岸だけでも多くのゴミが集まりました。



▲防災用品



浜当日海岸



浜当日海岸の亀トイレ前



ペットボトルのキャップ回収業者

昨年の審査日の時に審査人池谷氏の指摘があり、ペットボトルのキャップの回収やベルマーク・使用済み切手の収集活動も始めてみましたが、ea21の活動を始めた頃より集めていたボトルキャップ10kgを業者に持って行きました。ベルマーク・使用済み切手の収集はポスターを貼って始めましたがこれからどれくらい集まるでしょうか。



昨年度に引き続きウイルス対策としてマスクの着用・手洗いの励行・アクリル板の設置・3密を避けるなど続けてきましたが、コロナ対策助成金を利用して会議室に空気清浄機を設置しました。他にも健康問題として喫煙者には武漢ウイルスに感染すると重症化するリスクが高まることや、気管支炎や肺がん・心筋梗塞・糖尿病等の発症する確率が上がることなどタバコの害を知ってもらい禁煙を勧めています。“禁煙のすすめ”は過去にもポスターを貼ったり、外部から講師を招いて勉強会を開いたこともありましたが、効果は限定的でした。コロナ禍をきっかけに禁煙して欲しいです。

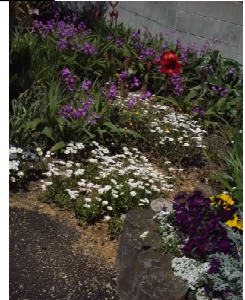
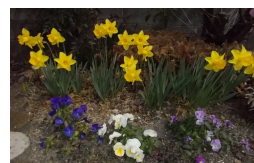
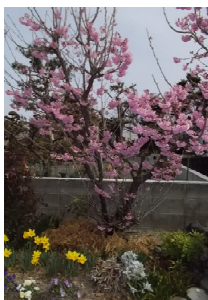


空気清浄機



従業員手洗い場の近くに花壇があります。

季節の移り変わりを花で感じてもらうと定期的に植え替えや種蒔きをしています。少しでも皆さんの“癒し”になれば・・・、と思っています。



今年度の活動評価（令和3年度）及び次年度の経営計画

取り組み事項	取り組み内容（詳細）	担当部署 責任者	評価	次年度
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5Sの徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躰）・安全活動の継続	製造部 （青島）	△	継続
	機械設備の定期点検・整備の徹底		○	継続
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・消電	総務部 （柏原佳）	○	継続
	空調設備の温度設定の徹底 （夏26℃以上/冬22℃以下）		△	継続
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節		○	継続
	照明器具・空調設備の定期的な清掃		○	継続
	省エネタイプの設備機器の継続的導入	管理部 （飯田）	○	継続
	計画的な輸送・運搬の実現		○	継続
	自動車の急発進・急加速の禁止、アイドリングストップの励行		○	継続
	安全運転の為のドライブレコーダー等安全装置の導入		○	継続
自動車の定期点検・整備の励行	○	継続		
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	3Rの徹底 Reduce（ゴミ削減） Reuse（再利用） Recycle（再資源化）	総務部 （中島初）	○	継続
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底		○	継続
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用		○	継続
	図面及び書類等の電子化推進	管理部 （石原）	○	継続
	廃棄物を出さないために購入時の再検討		△	継続
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底		△	継続
	材料在庫の管理		○	継続
原材料や溶接材料に関する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接材や塗料材等を効率よく最適な量を使用する	製造部 （木原）	○	継続
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、又は有害化学物質が含まれていない溶接材や塗料材を提案する	管理部 （石原）	○	継続
水道水削減の取り組み	節水に努める	総務部 （柏原佳）	○	継続
	止水の確認、漏水検査		△	継続
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入	総務部 （中島初）	○	継続
	防災訓練の実施		○	継続
	地域社会における社会貢献の推進		△	継続

該当環境関連法規、訴訟の有無

法律名	該当する要求	該当整備・項目	届け出先・報告先	評価項目	評価
建築基準法	・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可	・設計・施工 ・工事業 ・工場	静岡県 国土交通省	許可期限	○
				認定期限	○
廃棄物処理法	《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集業者許可確認	・紙くず ・木くず その他	なし	許可業者	○
	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60cm × 60cm 以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 マニフェストの集計、報告	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他	マニフェストの期限内返却しない場合 ……… 知事へ報告 前年度の交付状況 ……… 知事へ報告	契約書 許可書 マニフェスト管理	○ ○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・管理責任者の設置 ・処理の委託先の実地確認とその記録の保存	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他	不適正な処理が行われた場合 ……… 知事へ報告	委託業者	○
騒音規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
振動規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・ボール盤 ・研磨機 ・ショットブラスト	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
浄化槽法	・浄化槽の設置 ・変更の届け出 ・法定点検	・分離式 バッキ方式 20人	新設・変更の場合 ……… 知事へ届け出	新設・変更	○
				点検 1回/3ヶ月	○
消防法	・指定可燃物の届け出 (指定数量の1/5以上)	・塗料 2,000kg	焼津消防署	新規・変更	○
労働安全衛生法	・鉱物性粉じんの定期的測定検査 ・溶接ヒュームの定期的測定検査 (特定化学物質の取り扱い管理)	・特定化学物質 ・換気設備の設置 ・作業主任者の設置 ・呼吸用保護具のフィットテスト (1年以内毎に1回)	島田労働基準監督署	・塵肺健康診断 (3年に1回)	○
				・特定化学物質 健康診断 (半年に1回)	○
PRTR法	・有害化学物質管理	・キシレン、トルエン、鉛	静岡県省庁 ・届け出基準値以下	許可期限	—
フロン排出抑制法	・冷凍空調機器 全ての第一種特定機器が対象	・自社に於いて簡易点検実施 (3ヶ月に1度以上)	企業・法人の管理者が確認		○

遵守評価日：令和4年10月31日

法規制の遵守評価の結果、逸脱は有りませんでした。

過去3年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

地震、火災、液体物の漏れ等による緊急時対応マニュアル

1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場 他）
2. 目的	予防処置、発生時の処置を定め、汚染拡大を防止する。
3. 予防措置	<p>①工場内及び作業中は“禁煙”とする。（休憩時間に指定場所でのみ喫煙）</p> <p>②指定場所には消火器を設置し、法定点検を厳守する。</p> <p>③工場内等で火気を使用する場合は周りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施すること。</p> <p>④重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。 やむを得ず積み上げるときは、荷崩れしないような対策を講じておく事。</p> <p>⑤5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底。</p>
4. 緊急時の対応 （地震・火災）	<p>地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。</p> <p>①緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。</p> <p>②意識の有無を確認。無かった場合は声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて、反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。</p> <p>③大声で周りの人に応援要請し、消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。</p> <p>④外出血、特に大出血を認めた場合は直ちに止血の処置を行う。</p>
《地震の場合》	<p>①激震等の緊急事態が発生したら、安全な場所への一次避難を実施する。</p> <p>②地震がおさまったら主電源を切ること。二次避難の実施。</p> <p>③安全なことを確認の後、保管品の状態確認。</p> <p>④保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質や土壌汚染が考えられる場合は大声で周りの人に応援要請する。</p> <p>⑤液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。</p> <p>⑥安全管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p> <p>⑦津波警報が発令された場合は、大事なものだけを持ち、4階現寸場へ全員避難する。</p>
《火災の場合》	<p>①火災等の緊急事態が発生したら大声で周りの人に通報。その後構内放送で応援要請する。危険と判断したら即座に非難する。</p> <p>②応援要請を受けたものは直ちに消防へ連絡し、消火活動にあたる。</p> <p>③対応不可能と判断した場合は、直ちに消防へ連絡し、危険と感じたら即座に避難を開始する。</p> <p>④消防管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p>
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙あり。
6. 防災訓練	実施日：令和3年9月22日 焼津市主催のシェイクアウト訓練に参加。 火災報知機や消火器の法定点検の実施。

代表者による評価と見直し及び指示

今年度も建築業界は武漢肺炎の影響を受け、ガソリン価格の値上げによる運賃や電気料金の高騰もあり、工場やホテル、マンションなどの中小案件の計画延期や中止が発生しています。弊社でもその影響を受け、昨年に引き続き鉄骨鋼材購入量（支給材含む）がさらに落ち込み、基準年を令和2年度に変更してみましたが、残念ながら13項目中クリア出来たのは二つから三つになっただけでした。二つの産業廃棄物の項目がクリア出来、又有害化学物質排出量が昨年4ケタ数字（3,987.2kg）から3ケタ（684.4kg）になり、今年度はさらに半分以上（255.7kg）になったことは“残念”の中でも来年度に向けての好材料と診ています。

今年度は（毎年そうなのですが）、受注する物件に依り、集計項目の数値が異なってきます。元請けとして受注した物件や現場の管理も含まれる物件が多かったので、交通費（ガソリン使用量）が増加したり、材料も市中から定尺の鋼材を購入した物件が多かったので端材（鉄くず）が多くなったと思われます。

次年度もea21の活動は方針・計画は変更なく続けたいと思います。

代表者による指示としては、環境経営方針・目標・計画・実施体制は継続とします。

次年度は、今年度に比べて大型物件を受注出来る予定で、受注物件も増えているので景気も好転する見通しです。原料となる鉄鉱石や石炭の輸入価格が高騰し鉄骨鋼材とか輸送コストも値上がりしていますが、値上がりした金額が受注価格に反映できるようになりました。弊社では作業効率を上げるためにドリルマシンとバンドソーマシン入れ替えPCの図面データを直接機械に撮りこむことで品質精度と作業効率の向上でコストカットに対応しようと考えています。又、人材育成のため溶接技術や検査の能力向上を図り、資格取得に向けた訓練を積み、他社とは違う資格をも取得できるよう後押ししていきます。これで施工主に対する受注金額や品質精度の要求に答えたいと思います。



来年度も目標値を下回るように更なる努力・協力を従業員にお願いし、協力会社様にも同様な対応をして頂くように、会社一丸となって持続可能な循環型社会の構築を目指していこうと思います。これからもよろしくお願い致します。

令和4年10月

株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原正明

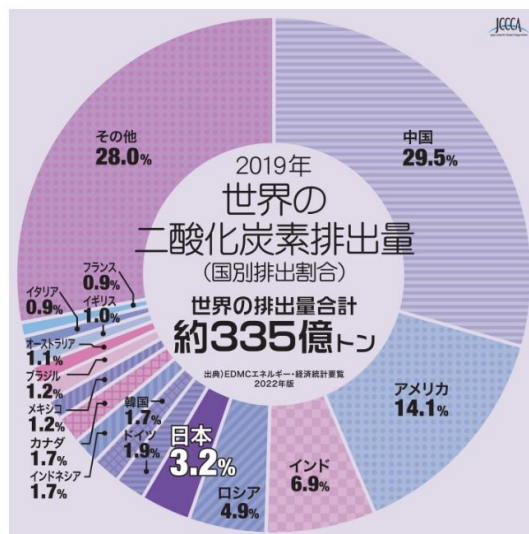
来年度に向けて

P9 からの続きです。

【有害化学物質排出量】は〈対前年比〉37.4%となって大幅に減少していることは大きな喜びです。前年度に置いても3,987.2kgから684.4kgになっており、更に今年度も255.7kgとなっています。【鉄骨鋼材購入量】も減っているのが当然ですが、やはりうれしいです。

次年度はもう始まっていますが、武漢肺炎ウイルスから脱却し景気を回復させ工事の受注件数・金額を増やすことが最大の目標です。それから原油高による電気料金やガソリン等の高騰による輸送費の値上げ、鉄骨鋼材や塗料材などの納入物品相次ぐ値上げにどう対応していくかが問題となります。だから次年度もこれまで以上に電気使用量の削減に努め、残材削減のため担当者同士の連絡を密にして鉄骨その他の発注をお願いしたいです。産廃の徹底分別もお願いします。

これからの日本は電気の使用量が大幅に上昇していくでしょう。電気自動車の普及・一般家庭のオール電化等々電気需要は留まりません。ですが、供給元は不安定です。原子力発電所はほとんどが止まっているし、火力発電所もCO²排出で地球温暖化の犯人としてこれも縮小傾向にあります。再生可能エネルギーである水力・風力・地熱・太陽光発電も自然災害や天候に左右され、自然破壊や景観の悪化を招き、安定供給元（ベースロード電源）にはなれません。“世界の環境団体で作る「気候行動ネットワーク」が『化石賞』に日本を選んだ”と新聞に載っていました。右表を見てください。日本のCO²排出量は世界で5位の3.2%です。日本の何倍もの排出量を中国、米国等が出しています。おかしいですね、これらの国はどんな『賞』をもらうのでしょうか。日本の石炭火力発電の技術は世界最高水準で大気汚染物質の90%以上を除去出来、発電効率も良いです。燃料である石炭もオーストラリアから安定的に安価で輸入出来ます。なぜこれをしていないのでしょうか、不思議です。今政府の言っている『経済安全保障』に合致すると思いますが…。原子力発電も、止めていても動かしてもリスクはそんなに変わらないと言います。弊社の電気使用量が〈対前年比〉99.37%と減少しているのに電気料金は〈同〉115.63%と増加しています。今後も電気料金は上がっていくでしょう。今ある原発施設は稼働させ電力料金を下げてほしいです。



出典)EDMC/エネルギー・経済統計要覧2022年版

ea21の活動について何か疑問・質問・意見等ありましたら担当者まで申し出てください。来年度に活かせるようにしたいと思います。

最後までお読み頂きありがとうございました。

令和4年10月

ea21 担当者より

